



VBH/VN*用 エアロボンネット 取扱説明書

取り付けは必ず専門ショップにてお願いします。
本製品は下記に示す車両にのみ取り付け可能です。

商品名	匠プロジェクト エアロボンネット
用途	自動車部品
メーカー・車種・エンジン型式	スバル WRX S4 5BA-VBH FA24 スバル レヴォーグ 5BA-VNH FA24 スバル レヴォーグ 4BA-VN5 CB18
年式	VBH 2021年11月～ VN* 2020年11月～

本書は取り付け作業前に必ずお読みください。

はじめに

- ・この度は匠プロジェクトエアロボンネットをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
取り付けは必ず専門業者に依頼し、取り付け後は本書に記載されている内容を守り安全にご使用ください
- ・本製品を使用して生じた損害や、脱着工賃およびそれに付随する費用、また自動車を使用することができないことによる損失等につきましては、一切の保証はいたしかねます。
- ・車輻には組付けの個体差等のばらつきがあります。取り付け、塗装前に車輻に本製品の仮合わせをしてください。加工、塗装後の返品、クレームには一切応じません。
- ・本製品の取り付け作業中に生じた損害などにつきましては一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・「極」、「匠」ボンネットは製造の都合上商品表面に小傷やカーボンの織目の一定でない箇所が存在する場合がありますのであらかじめご了承ください。

<付属品>

①	取扱説明書	1部
②	クリップ(純正インタークーラー裏ダクト固定用)※予備1個	10個
③	左右ブラケットヒンジ用ステンレスプレート(個体差による高さ調節用)	2枚
④	ウォッシャーノズル	3個
⑤	ホース(ウォッシャーノズル用)	3本

※ボンネット取り付けボルトおよびボンネットキャッチアームは純正再使用

取り付け作業を始める前に…

① ウォッシャーノズルの取り付け

下記の説明に従ってウォッシャーノズルをボンネットに取り付けてください。



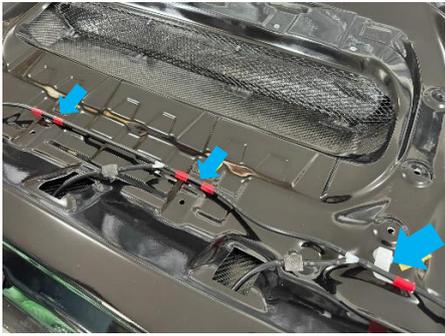
付属のウォッシャーノズルとホースをそれぞれ3ヶ所、左図のように取り付けてください。



ボンネットの個体差により3ヶ所の開口部の厚みが異なる場合があります。そのためボンネットに取り付ける際に、場合によっては左図のようにウォッシャーノズルのクリップをヤスリで削り、厚みに合わせて調節する必要があります。



ウォッシャーノズルを赤丸の位置に取り付け、ホースを青丸の位置から出します。



既存のボンネットから取り外したクリップとホースを画像の通りに取り付けてください。



先程固定したホースとウォッシャーノズルホースに差し込んでください。



ウォッシャーノズルの取り付けが終わったら、インタークーラーガイドをエアロボンネットに移植しておきます。その際に付属の新品クリップで所定の箇所を固定します。

②作業スペース周辺の車体の養生

作業中の万が一の傷や干渉防止のために車体の養生を行ってください。

特にボンネット開閉時にフェンダーと干渉する可能性がございます。

フェンダーやバンパー側にマスキングテープなどを張ったうえでボンネットとボディの接触には十分に注意して作業を行ってください。

※作業は二人以上で行い、安全に十分配慮して行ってください。

取り付け作業

① 既存ボンネットの取り外し

- ・既存ボンネットから純正ボンネットキャッチを取り外します。
- ・ヒンジとボンネットダンパーのボルトを外し、ボンネットを取り外します。

② エアロボンネット仮付け

- ・取り外し手順と逆の手順でエアロボンネットを仮付けします。
- ・仮付けした状態でボンネットをゆっくりと閉め、フェンダーと干渉がないか確認してください。

③ チリの確認



- ・最初に左右のチリを合わせます。
- ・次にフェンダーとボンネットの高さを合わせます。ボンネット側が低い場合には付属のステンプレートを噛ませて高さを調整してください。
- ・最後にボンネットとバンパーの高さを合わせます。ボンネット高さ調整用のゴムブッシュを用いて高さを調整してください。

※チリの確認作業中はフェンダーとの干渉に十分に注意してください。

④ 諸パーツの取り付け

- ・純正ボンネットキャッチを取り付けます。

⑤ 本締め

最後に各部の本締めを行ってください。

※本製品は樹脂製の部分が多いため締め付けトルクが強すぎると破損する場合があります。本締めの際は十分注意してください。

注意事項

- ・クリアゲル仕上げの状態の場合は経年により白くくすむ可能性がございます。更に耐候性を上げるためにクリア塗装を推奨いたします。
- ・本製品は樹脂の特性上、取り付け直後からやせてしまいます。馴染んだ後に必ず増し締めを行ってください。また日常点検の際にも増し締めを定期的に行ってください。
- ・「雅」ボンネットは塗装前提の製品となっております。